



令和5年1月31日
和泉市立池上小学校
校長 松田昌生

【学校教育目標】 人間性豊かな心身ともにたくましい社会人になるための基盤を育成する

《めざす子ども像》 ○考える子 ○やさしい子 ○元気な子

〒594-0083 和泉市池上町三丁目14番45号 TEL 0725-45-3840 FAX 0725-45-3850

もう一つの「ウサギとカメ」

昔々、あるところにウサギとカメが仲よく暮らしていました。ある日、どちらからともなく駆けっこ競争をしたくなりました。ウサギは自分の足が速いことを知っていましたが、どれだけ速いか比べてみたいと思っていました。カメは、自分が足の遅いことは知っていましたが、どれだけ遅いのか比べてみたことがありませんでした。

そこで、ずっーと向こうの山のふもとまで競争しようということにしました。

「よーいドン」ウサギとカメは、同時にスタートしました。ウサギは、自分の足の速さを生かして、脇目も振らずにゴールを目指して走っていきました。イソップ物語のようなウサギではないので、途中で一休みすることなくゴールをして、後から来るカメのゴールを待ちました。途中でやめてしまったのかなと思うくらい遅れてゴールしたカメに、「大丈夫かい」と声をかけました。カメは、息を切らしながら「ウサギさんはやっぱり速いね。スタートからあっという間に見えなくなったね。途中でいたお地蔵さんの所でやめようと思ったんだけど、お地蔵さんが『がんばれ、がんばれ』と励ましているような気がしたので走り続けたんだよ。でも、やっぱり茶店の所や郵便ポストの所で辛くなって、何度も走るのをやめようと思ったんだけど、がんばってゴールしたんだよ。本当にウサギさんは速いね」

それを聞いたウサギは「僕は足に自信があったから、ゴールを目指して一生懸命走ったんだよ。でも、途中にお地蔵さんや郵便ポストがあったなんて全然気がつかなかった。カメさんは、いろいろなものを見ながら努力しているんだね。これからも教えてね」

ウサギとカメは、お互いを認め合うことにより、自分の得意なものや不得意なものに気づき、自信を持ちながら前よりも仲よく暮らしました。 (佐々木 民義)

人の「良いところ」を見つけることは、よい人間関係づくりの元になります。これからは、多様性を認めていく社会づくりが求められています。「ちがう」部分を排斥するのではなく、お互いの良いところを認め合い、違いを受け入れていく心が大切になってきます。

これからの子どもたちには、そのような心を育てていきたいと思っています。

【人生、何を目標にするのか】

人生のマラソンは、その到達点である「死」に早く着いた人が「勝ち」などということはない点を考えるならば、途中の風景を楽しまずにまっしぐらに走る馬鹿さ加減もわかってくるだろう。 (河合 隼雄)